

# 債券・為替 ウィークリーレポート



カナダ



ブラジル



メキシコ



オーストラリア



ニュージーランド



ノルウェー






南アフリカ



インドネシア



インド

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		4/5 （3/29との比較）	4/5 （3/29との比較）	前年比 （※3）	先週末		
		今後の見通し （※4）	今後の見通し （※5）	景気の方向性 （※6）	方向性 （※7）		
カナダ 	AAA	1.70% （+0.08）	83.47円 （+0.52%）	+1.6% 2018年4Q	1.75%	発表された製造業PMI（購買担当者景気指数）は前月比低下、雇用者数も市場予想を下回る結果。一方、原油価格の上昇が追い風となり、カナダドルは対円で上昇。米国国債利回りの上昇につれ、国債利回りは上昇。	住宅着工件数や住宅価格に関する指標が発表予定。引き続き、4月中旬にG20（主要20カ国・地域）の財務相・中央銀行総裁会議が予定され政策期待が継続する中、債券・為替市場はともにレンジ内での推移を想定。
	Aaa	→ 金利横ばい	→	→ 景気安定	→ 据え置き局面		
ブラジル 	BB-	8.07% （▲0.08）	28.83円 （+2.01%）	+1.1% 2018年4Q	6.50%	発表された貿易収支や鉱工業生産は市場予想を下回ったが、サービス業PMIは前期比で改善。政府高官による年金改革に関する動向に注目が集まる中、レアルは対円で上昇。国債利回りは低下。	小売売上高やインフレ関連指標などが発表予定。引き続き、ボルソナロ大統領の政策動向など、その政治手腕に注目が集まる展開を想定。債券・為替市場はともに概ねレンジ内での推移を予想。
	Ba2	→ 金利横ばい	↗	↗ 景気回復	→ 据え置き局面		
メキシコ 	A-	7.82% （▲0.02）	5.86円 （+2.67%）	+1.7% 2018年4Q	8.25%	発表された製造業PMIは前月比で悪化、消費者信頼感指数も市場予想を下回る内容。また米国との間で国境問題や移民問題に焦点が集まったが、市場への影響は限定的に。メキシコペソは対円で上昇。国債利回りは小幅低下。	CPI（消費者物価指数）や鉱工業生産などが発表予定。引き続き、米国との国境に関する政策動向や、経済政策などに注目が集まることが予想される中、債券・為替市場はともに概ねレンジ内での推移を想定。
	A3	→ 金利横ばい	↗	→ 景気安定	↗ 利上げ局面		

出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。

※2 国債利回りを表示（カナダ：10年、ブラジル：4年、メキシコ：5年）。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。

※3 経済成長率については、前年同期比を表示。
















※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。

※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。

※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。

※政策金利については、カナダ：翌日物貸出金利、ブラジル：Selicレート、メキシコ：翌日物金利を表示。

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。  
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		4/5 （3/29との比較）	4/5 （3/29との比較）	前年比 （※3）	先週末		
		今後の見通し （※4）	今後の見通し （※5）	景気の方向性 （※6）	方向性 （※7）		
オーストラリア 	AAA	1.91% （+0.13）	79.38円 （+0.90%）	+2.3% 2018年4Q	1.50%	中銀は、市場予想通り政策金利の据え置きを決定。また発表された企業景況感や小売売上高、貿易収支などの経済指標も市場予想を上回ったほか、中国経済への安心感もあり、豪ドルは対円で上昇。国債利回りは上昇。	住宅ローン関連指標や消費者信頼感指数などが発表予定。これらの経済指標のほか、米中の通商問題の進展に注目が集まる中、債券・為替市場はともに概ねレンジ内での推移を想定。
	Aaa	 金利横ばい		 景気安定	 据え置き局面		
ニュージーランド 	AA+	2.00% （+0.19）	75.20円 （▲0.30%）	+2.3% 2018年4Q	1.75%	ニュージーランド経済研究所が発表した四半期調査によると、第1四半期の企業信頼感は悪化し、上期の経済成長が鈍化する可能性を示唆。ニュージーランドドルは対円で下落。国債利回りは上昇。	住宅売上高や食料品価格、製造業PMIなどが発表予定。景気見通しへの悲観の修正や、米中貿易摩擦への思惑などから、リスク許容度の変化には注意が必要だが、債券・為替市場は比較的底堅い展開を予想。
	Aaa	 金利横ばい		 景気安定	 据え置き局面		
ノルウェー 	AAA	1.69% （+0.14）	12.98円 （+1.10%）	+1.7% 2018年4Q	1.00%	発表された経済指標は、製造業PMIは市場予想を上回る結果となった一方、鉱工業生産は前月比でマイナスの結果となるなど、強弱まちまち。ノルウェークローネは対円で上昇。国債利回りは上昇。	GDP（国内総生産）やCPI、生産者物価指数などが発表予定。世界的な利下げトレンドに対し、同國中銀が利上げスタンスを継続できるかに注目。為替、債券ともに一進一退の展開を想定。
	Aaa	 金利横ばい		 景気拡大	 利上げ局面		

出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。

※2 10年国債利回りを表示。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。

※3 経済成長率については、前年同期比を表示。
















※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。

※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。

※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。

※政策金利については、オーストラリア：キャッシュレート、ニュージーランド：オフィシャル・キャッシュレート、ノルウェー：デポジットレートを表示。

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。  
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		4/5 (3/29との比較)	4/5 (3/29との比較)	前年比 (※3)	先週末		
		今後の見通し (※4)	今後の見通し (※5)	景気の方向性 (※6)	方向性 (※7)		
南アフリカ 	BB+	7.65% (▲0.10)	7.93円 (+3.69%)	+1.1% 2018年4Q	6.75%	発表された製造業PMIは、深刻な電力危機による断続的な停電を背景に3カ月連続低下し、市場予想を下回る結果。大手格付会社からの格付けが維持されたこともあり、ランドは対円で上昇。国債利回りは低下。	鉱物生産量や製造業生産などの発表を予定。引き続き計画停電の影響が国内の経済活動にどの程度影響を及ぼしているか注目。債券・為替ともに主要国の市場動向に左右されやすい展開を想定。
	Baa3	 金利横ばい		 景気停滞	 据え置き局面		
インドネシア 	BBB-	7.09% (▲0.06)	0.79円 (+1.58%)	+5.2% 2018年4Q	6.00%	発表された製造業PMIは前月比改善の一方、CPIは市場予想を下回る内容も、相場への影響は限定的。世界的なリスク許容度の改善を背景に円が下落したことなどから、ルピアは対円で上昇。国債利回りは低下。	対外純資産や外貨準備高などの発表予定だが、影響は限定的と予想。悲観的な景気見通しの修正や米中貿易摩擦への思惑などから、市場心理が変化しやすい環境下、債券・為替市場ともに一定の底堅さを示すと予想。
	Baa2	 金利横ばい		 景気拡大	 据え置き局面		
インド 	BBB-	7.05% (+0.12)	1.61円 (+0.79%)	+6.6% 2018年4Q	6.00%	発表された製造業PMIは前回数値を下回る内容。中銀は経済成長率見通しを下方修正すると同時に、市場予想通り利下げを決定。インドルピーは対円で上昇。国債利回りは上昇。	CPIや鉱工業生産などが発表予定。11日から投票が始まる総選挙を控えて、モディ首相が再選するかどうかに注目が集まる中、債券・為替市場はともにその動向に敏感に反応する展開を予想。
	Baa2	 金利上昇		 景気回復	 据え置き局面		

出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる本国通貨建て長期債格付を表示。

※2 国債利回りを表示（南アフリカ：3年、インドネシア：5年、インド：5年）。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。

※3 経済成長率については、前年同期比を表示。

※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。

※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。

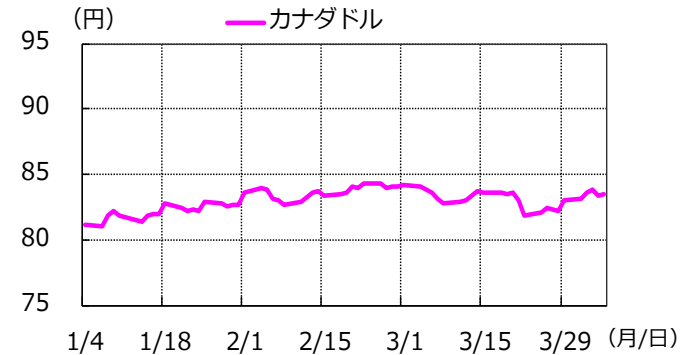
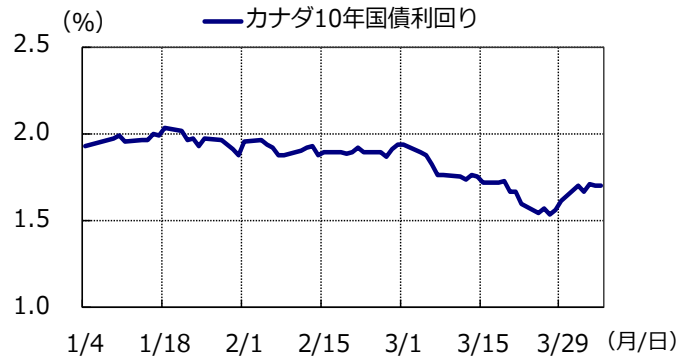
※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。インドネシアルピアは100通貨単位あたりの値。

※政策金利については、南アフリカ：レポレート、インドネシア：7日物リバースレポ金利、インド：レポレートを表示。

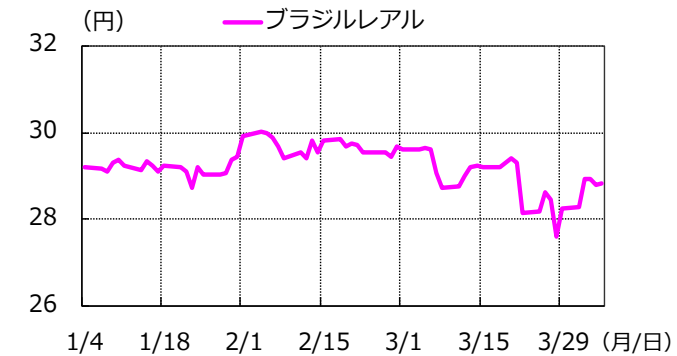
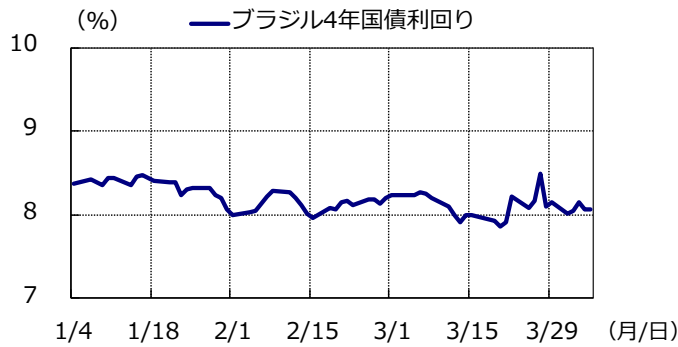
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。  
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

期間：2019/1/4～2019/4/5

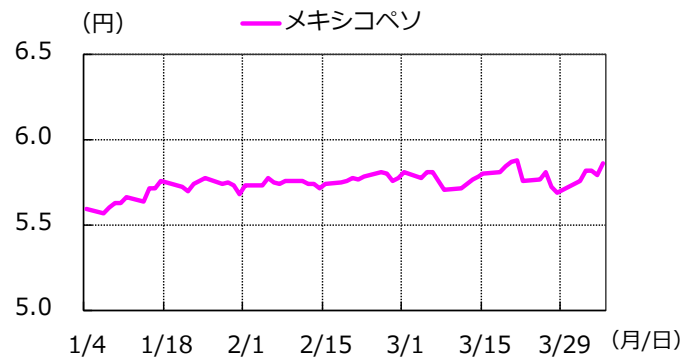
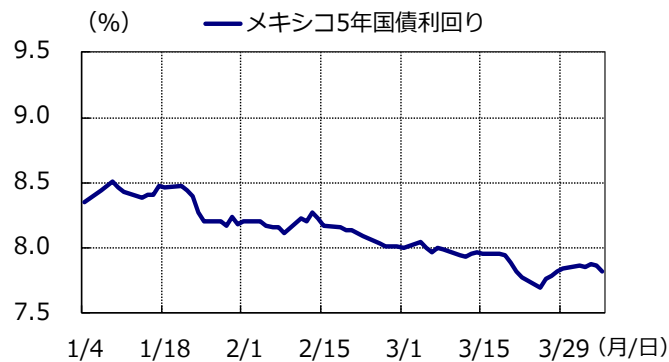
カナダ



ブラジル



メキシコ

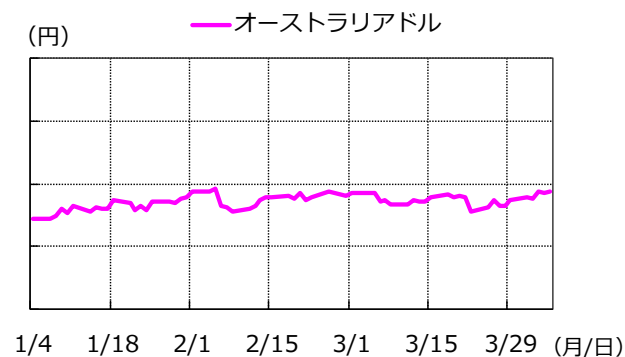
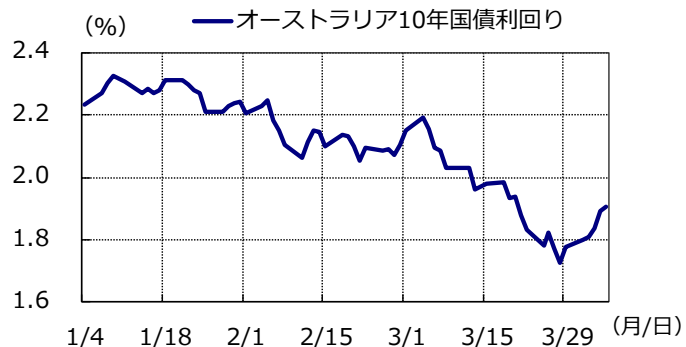


※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

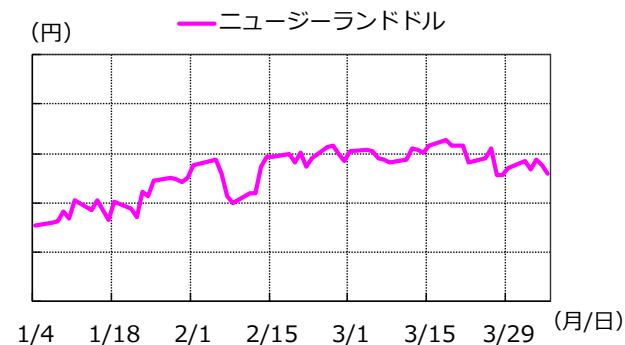
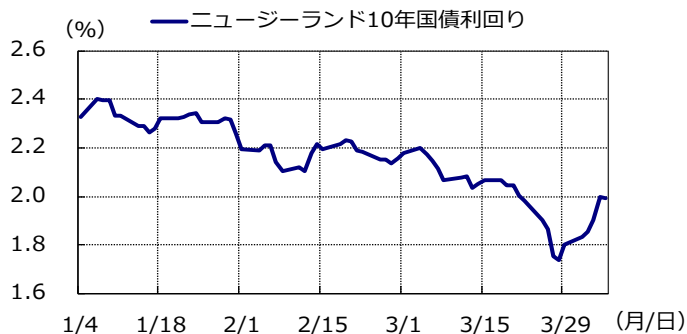
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。  
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

期間：2019/1/4～2019/4/5

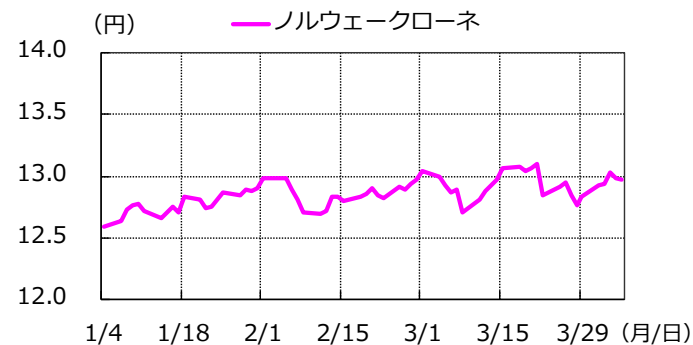
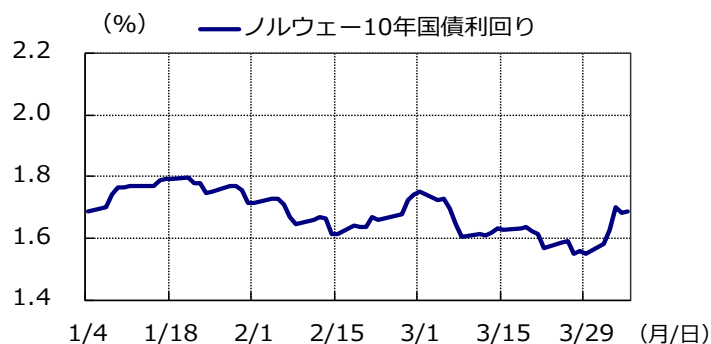
オーストラリア



ニュージーランド



ノルウェー

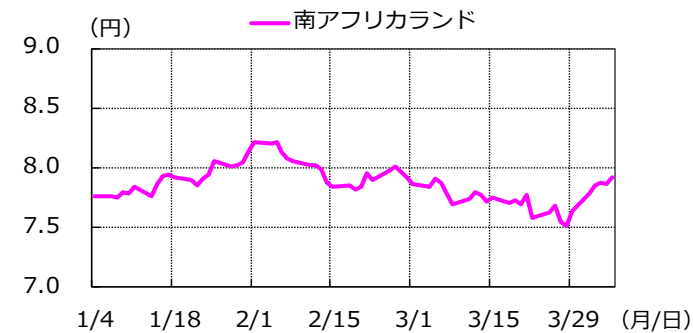
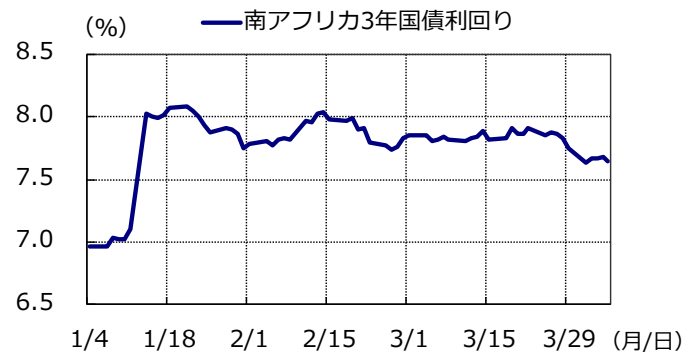


※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。出所：ブルームバークのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

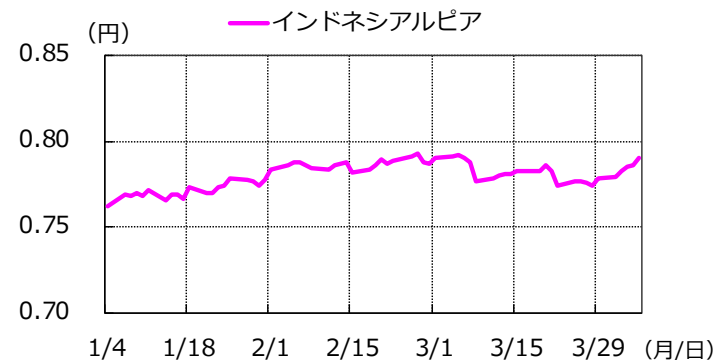
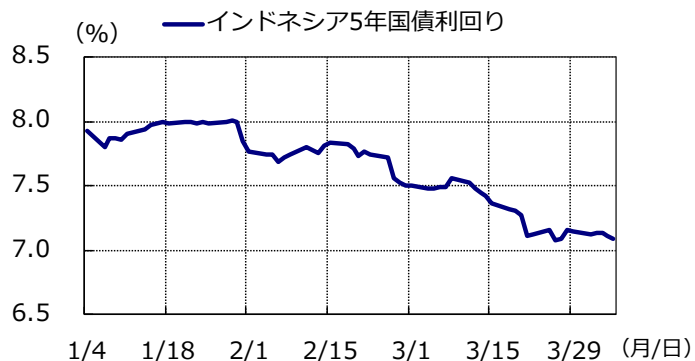
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。  
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

期間：2019/1/4～2019/4/5

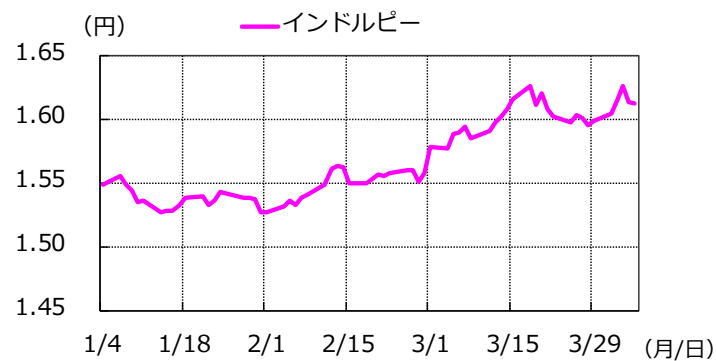
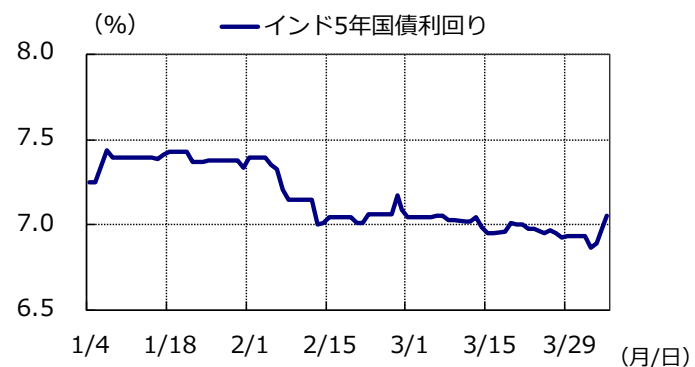
南アフリカ



インドネシア



インド



※インドネシアルピアは100通貨単位あたりの値。 ※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。  
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

# 投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項

## 【投資信託に係るリスクと費用】

### ● 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券および不動産投資信託証券（リート）などの値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替リスクもあります。）に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金とは異なります。

### ● 投資信託に係る費用について

[ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。]

#### ■ お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料：上限3.78%（税込）

換金時手数料：換金の価額の水準等により変動する場合がありますため、あらかじめ上限の料率等を示すことができません。

信託財産留保額：上限0.5%

#### ■ お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用（信託報酬）：上限 年率2.6824%（税込）

※上記は基本的な料率の状況を示したものであり、成功報酬制を採用するファンドについては、成功報酬額の加算によってご負担いただく費用が上記の上限を超過する場合があります。成功報酬額は基準価額の水準等により変動するため、あらかじめ上限の額等を示すことができません。

その他費用・手数料：上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。投資信託説明書（交付目論見書）等でご確認ください。その他費用・手数料については定期的に見直されるものや売買条件等により異なるため、あらかじめ当該費用（上限額等を含む）を表示することはできません。

※手数料等の合計額については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することはできません。

※上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、アセットマネジメントOne株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

※投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国が異なることから、リスクの内容や性質、費用が異なります。投資信託をお申し込みの際は、販売会社から投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめ、または同時にお渡ししますので、必ずお受け取りになり、内容をよくお読みいただきご確認のうえ、お客さまご自身が投資に関してご判断ください。

※税法が改正された場合等には、税込手数料等が変更となることがあります。

## 【ご注意事項】

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。

● 当資料は、情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。

● 当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

● 投資信託は、

1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象ではありません。

2. 購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。

3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。